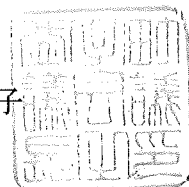


益議第27号
令和7年6月3日

益子町長 広 田 茂十郎 様

益子町議会議長 小 島 富 子



第3期ましこ未来計画の検証について

過日の全員協議会等において、新ましこ未来計画の検証を行いましたので報告します。

記

- 1 協議日時等 令和7年4月25日（金）全員協議会室、第1委員会室
 令和7年5月29日（木）全員協議会室
- 2 検証結果等 別紙「提言書」のとおり

第3期ましこ未来計画に関する提言書

計画の最終年度を迎え、重要目標達成指標である合計特殊出生率、並びに20～30歳代の移住者の目標値について、現状ではどのようなになっているのか情報共有が図れるよう示されたい。

「益子町DX推進ビジョン」を本計画の改訂において統合することにより、DXを推進するとされているが、推進ビジョンにおける重点取組事項の進捗状況についても精査されたい。

本計画実施各年度において、優先目標3項目に対する総括も必要であり、年度毎程度の精査をされたい。

【基礎目標1 幸せを感じる暮らしをつくる】

- ① 若年層の町民税を一定期間減免する優遇制度の新設について、実現可能性を精査の上、制度設計を示されたい。
- ② 今年度の国勢調査実施時において空き家調査を合わせて実施し、利活用可能な空き家情報を集約されたい。
- ③ 自転車運転の道交法罰則化が強化されることとなり、自転車等の交通安全教室の拡充推進を図られたい。
- ④ 年間出生者数は対前年同期より増加しており、移住定住や子育ての手厚い支援の成果かと思われるが、より一層の周知を図る取り組みを進められたい。若年層の社会動態の落ち込みが著しいので、特に女性にとって暮らしやすい町や地域社会のあり方について検討されたい。晩婚化、未婚率の増加に対する施策やアンコンシャスバイアス解消の啓発や人権教育については男女とも全世代を対象に一層取り組まれたい。
- ⑤ 福祉に関する総合窓口が新設されたことから、保健センターとの連携を一層強化し、相談・支援を必要とする町民のために努められたい。メタボ予備軍を減らして健康の増進を図るとともに、医療費を抑えるためにも健康教室の開催と食育を推進されたい。
- ⑥ EV車の保有台数は順調に伸びているので、今後は充電ステーションを充実されたい。環境への配慮としてゼロカーボンの取り組みも重要であるので推進協議会の一層の活性化と町民へのゼロカーボン対策の啓発活動をするとともに、環境保全・景観の保護もあわせてバランスをとりながら施策を立てられたい。共和加工に搬入される家庭からの生ゴミが減少しているので、環境への配慮や、ごみ処理の経費節減、堆肥化など、より一層意識醸成のための啓発活動に努められたい。
- ⑦ 高齢者のフレイル予防と生きがいづくりのため、外出する機会と移動手段を増やす施策を検討されたい。いきいきクラブの減少は運営がネックであるのでその支援と、デマンドタクシーや、その他利便性を高めるような施策を検討されたい。

【基礎目標 2 風土に根ざした産業をつくる】

- ① 企業誘致の推進状況において、KPI となっている誘致企業数が未だに 0 である状況を鑑み、今後の方針、計画等を明確に示されたい。
- ② 商店街活性化のための勉強会、イベント等のソフト事業の成果が見受けられる状況にあり、引き続き拡充を図るとともに空き店舗対策についても注力されたい。
- ③ コワーキングスペース整備の支援、補助制度が制定されたが、制度の利用状況を精査し、有効活用されるよう制度内容の見直しも含め改善を図られたい。
- ④ 手仕事のまちづくりとして、益子焼関連の支援、補助制度の周知強化を図り、関係団体と今後の戦略的方针を構築されたい。また、工業製品を含むセラミック製品の開発の可能性を検討されたい。
- ⑤ 地産地消、産業の 6 次化を目指した食の学校については、これまでの実施状況及び成果を精査して商品開発に固執せず気軽に参加できるようなカリキュラムの改善等を施し、参加者の裾野が広がる等の見直しを図られたい。
- ⑥ 観光の基幹産業化を図るため、DMO ましこラボ等と連携して中長期的視点に立った観光戦略を構築されたい。

【基礎目標 3 社会的に自立した人材を育てる】

- ① 自分を尊重できる人の割合については、育脳プログラムの更なる普及啓発とともに学級経営の中でも引き続き目標に向かって努められたい。重要な問題である不登校については、児童生徒と保護者への対応と家庭教育力を高める対策により努められたい。
- ② コミュニティースクールについては町内全校で実施になったが、地域での認知が進むように取り組まれたい。
- ③ 児童生徒の不読率が高まった原因について調査され、改善されるよう対策を講じられたい。
- ④ 拠点校部活動については、部の種類の多様性や活動のしやすさを考慮するなど、生徒を尊重した柔軟な対応を図られたい。

【基礎目標 4 地域資産を活かし未来へとレガシーをつくる】

- ① 重要通学路の整備率が当初の KPI 目標値を上回っている状況にあるので、さらなる狭隘道路等の整備強化を図られたい。また、場所により町道の劣化が顕著に見受けられる状況にあるので保守点検の強化も図られたい。
- ② 下水道整備率の向上を図るため、下水道施設の整備とともに合併浄化槽の推進を強化されたい。また、水洗化促進のための新たな補助金等を検討することとなっているが、実現可能な補助金等の新設内容を示されたい。
- ③ かさましこの活動については、ツアーを組むなど積極的に展開して、企画展の開催や案内板、説明文の掲示も進め、有料観光ガイドの育成も重要であるので人数が増えるように努められたい。また、町民の意識が低くならないよう機運を高める方策を立て、日本遺産の登録が維持できるよう努められたい。

- ④ 図書館の建設については、開館を待ち望む町民の要望に早く応えられるよう努められたい。また、資材価格が高騰している状況ではあるが総工費予算が大きく膨らまないよう留意されたい。

【基礎目標 5 健全で次世代型の経営体をつくる】

- ① 包括連携協定を結ぶ企業をはじめとして、周知、発信を強化して企業版ふるさと納税の促進を図られたい。さらにクラウドファンディングを積極的に活用し、事業資金等を調達されたい。
- ② 職員の欠員を含め、職員定数が適正か検証する必要がある。行政ニーズに適応しているか定数管理を精査し、職員の確保に当たられたい。
- ③ 主体性を持ち、自ら行動できる職員の育成を図るとともに、DX に対する職員の意識改革となるよう研修等を充実されたい。
- ④ 行政手続きの電子化については、KPI を 60 件に設定しており、本計画最終年度を迎え、目標値に達するよう努められたい。
- ⑤ 地域社会づくりに向けた取り組みについては、すでにモデル地区が設定され事業を実施しているが、町内各地全域に波及するよう進捗状況の周知等を図られたい。